



ID: 1325

科目名	建築環境工学【26年度生用】			コード			
英語表記	Environment Engineering of Building						
担当教員名	北川 桂子			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
現代都市及び建築の置かれた環境は、広い意味では地球環境問題、身近なことではシックハウスや住居空間ないぶのに置ける多くの環境問題を抱えている。本講義では、建築や住空間の設計に関わる基本的な環境の架台に対処する方法論と解決のための対処法の基本を学ぶ。すなわち建築空間内に要求される環境性能として、光・音・熱(温度)・湿気・空気環境について満足すべき要件と制御法を学習する。							
到達目標							
本講義では、(1)環境工学の基礎的な理論と技術を理解する。(2)健康かつ快適な住環境を構築するための基本的考え方について修得する。ことを目的とする。							
授業計画							
第1回	概論 地球環境と建築						
第2回	気候風土と建築						
第3回	温熱環境1						
第4回	温熱環境2						
第5回	日照・日射						
第6回	採光・照明						
第7回	視環境						
第8回	色彩						
第9回	音環境1						
第10回	音環境2						
第11回	空気環境1						
第12回	空気環境2						
第13回	地球環境						
第14回	建築環境の実例1						
第15回	建築環境の実例2						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
各講義の後半に講義内容に基づく演習・レポートを課す。その評価50%と期末試験50%にて評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			10	10	30	50	
授業外学習			テキスト、教材				
			市ヶ谷出版「建築環境工学」倉淵隆著				
参考書			受講生へのメッセージ				
辻原万規彦監修今村仁美・田中美都著「図説やさしい建築環境」学芸出版社			建築環境工学では、主として建築空間内の環境と設備を主眼において学習する。建築室内環境・地球環境の大きな枠組みのなかでそれぞれの建築設計における位置づけと必要な機能及び設計条件を学ぶ。				
キーワード							